

水草研究会第 38 回全国集会 研究発表プログラム 2016 年 8 月 20 日(土)

■口頭発表 (13:30~16:05)

- O1 水草と市民活動をつなげた事例発表  
法橋弥生(特定非営利活動法人 西条自然学校)
- O2 車軸藻によるファイトレメディエーションの研究  
竹内千尋・浅枝隆(埼玉大学大学院理工学研究科)
- O3 日本産オオアカウキクサ節植物の系統と分類形質の再検討  
小松美晴<sup>1</sup>・鈴木武<sup>2</sup>・綿野康行<sup>1</sup>(<sup>1</sup>千葉大学大学院理学研究科,<sup>2</sup>兵庫県立人と自然の博物館)
- O4 兵庫県で発見された日本新産のガマ属雑種  
倉園知広・角野康郎(神戸大院・理・生物)
- O5 イワキアブラガヤの謎は解けるか? -1930 年代の標本を用いた DNA 解析-  
首藤光太郎<sup>1</sup>・佐藤晃平<sup>2</sup>・黒沢高秀<sup>2</sup>・兼子伸吾<sup>2</sup>(<sup>1</sup>福島大・院・共生システム理工,<sup>2</sup>福島大・共生システム理工)
- O6 夜沼(岩手県八幡平市)におけるカラフトグワイの発見:生育環境と近隣地域集団との遺伝的關係  
志賀隆(新大・教育)・加藤将(日本国際湿地保全連合)・薄葉満(いわき市)・山ノ内崇志(牧野植物園)・倉園知広(神大・院・理)・平澤優輝(新発田中央高校)・山崎真実(札幌市博)
- O7 外来水生植物オオバナイトタヌキモの生態学的研究  
野田智祥・角野康郎(神戸大学・院・理・生物)
- O8 エフクレタヌキモの再同定と野生化の現状  
角野康郎・野田智祥(神戸大・理・生物)
- O9 河内(こうち)の國へようこそーエクスカーションのご案内ー  
山ノ内 崇志(高知県立牧野植物園)

■ポスター発表 (16:05~17:00)

- P1 四国南西部の車軸藻類  
藤原陽一郎(特定非営利活動法人愛媛生態系保全管理)・加藤将(特定非営利活動法人国際湿地連合)・小林真吾(愛媛県総合科学博物館)
- P2 島根県出雲市の神西湖における水生植物の現況  
辻井要介(フリーランス・島根大学汽水域研究センター協力研究員)・國井秀伸(島根大学汽

水域研究センター)

- P3 ミズニラの好む環境要因の把握とその保全方法の検討  
相澤 直(明治大学 応用植物生態学研究室)
- P4 四尾連湖(山梨県)における水生植物相の変遷  
長谷川裕弥・吉澤一家(山梨県衛生環境研究所)
- P5 富士北麓, 河口湖における光環境と水生植物の分布状況  
上嶋崇嗣・中村誠司・渡邊広樹\*(山梨大・院・教育)・加藤将(日本国際湿地保全連合)・芹澤(松山)和世・芹澤如比古(山梨大・教育) (\*は卒業生)
- P6 富士北麓, 本栖湖における光環境と水草・大型藻類の分布状況  
中村誠司・上嶋崇嗣(山梨大・院・教育)・佐野英樹\*・田口由美\*・芹澤(松山)和世・芹澤如比古(山梨大・教育) (\*は卒業生)
- P7 山梨県内の水田域における水草・大型藻類の分布状況  
渡邊亮・芹澤(松山)和世・芹澤如比古(山梨大・教育)
- P8 関東地方における移入種イケノミズハコベの分布状況  
槻ちがや(筑波大・生命環境)・上條隆志(筑波大・生命環境系)・片桐浩司(土研・河川生態)・田中法生(国立科博・植物園)
- P9 長い眠りから目覚めた井の頭池のイノカシラフラスコモ(車軸藻類)―絶滅したタイプ産地集団の復活―  
加藤将(日本国際湿地保全連合)・内山香(東京都西部公園緑地事務所)・森嶋秀治(千葉県立鎌ヶ谷高等学校)・白土智子・西廣淳(東邦大学理学部)
- P10 重要生態系監視地域モニタリング推進事業「モニタリングサイト 1000」における水生植物調査の始動  
加藤将・横井謙一(日本国際湿地保全連合)・角野康郎(神戸大学理学部)・國井秀伸(島根大学汽水域研究センター)・志賀隆(新潟大学教育学部)・西廣淳(東邦大学理学部)・山ノ内崇志(高知県立牧野植物園)・高村典子(国立環境研究所)・川越久史・最上祥成・宮田亮(環境省生物多様性センター)